

## 顔の評価〔俳優〕

前田 佑樹([21311278ym@tama.ac.jp](mailto:21311278ym@tama.ac.jp))

井田 匡輔([21311023ki@tama.ac.jp](mailto:21311023ki@tama.ac.jp))

笠原 大樹([21311084dk@tama.ac.jp](mailto:21311084dk@tama.ac.jp))

加茂 諒平([21311097rk@tama.ac.jp](mailto:21311097rk@tama.ac.jp))

1. 私たちは顔の評価〔俳優〕について調べました。
2. 目的
  - ・人は顔の良し悪しを何を基準に決めているのかを調べるためです。
  - ・またアンケート結果を平均し、数値化することでどのような顔が好まれるのかを、分かりやすくするためです。
3. 方法
  - ・12個の形容詞を用いたSD法で、10枚の写真を7段階評価でアンケートを取り、出た結果を平均して順位を決めました。
4. 順位
  - ・この下の数字は、数が小さいほど順位がいいということです。
  - ・1位は四番の写真でした。2位は3番 3位は2番の写真でした。そして、一番評価が悪かったのが6番の写真でした。
5. 順位と形容詞の相関
  - ・このグラフは順位と形容詞の相関で、これを見ると1番順位と関係している形容詞は、力のないと騒がしいでした。マイナスは順位とは関係ないという意味です。
6. 因子分析
  - ・これは因子分析のグラフです。このグラフをみて、まず1は⑥ ⑦ ⑤が数値で高いので、地味さが関係していると判断しました。2は⑨ ① ③ ②が数値で高いので、若々しさが関係していると判断しました。3は⑩ ⑧ ④が数値で高いので、濃さが関係していると判断しました。
7. 結果
  - ・アンケートの結果、順位の上位には若い層の俳優が多かったが、1位になったのは40代後半の俳優でした。
  - ・高い順位ほど力強さと落ち着いたイメージが関係していました。また、地味であるほど順位は低くなることがわかりました。
8. ご清聴ありがとうございました。

